令和2年度(2020年度) 商工会等事業変更概要書(1回目)

泉佐野商工会議所

(単位:円)

1. 事業変更一覧

変更区分	事業区分	事業名	変更の理由	補助金額
変更	経営相談支援事業	_	支援件数の増加が見込まれるため。	252,695
変更	地域活性化事業	さのまちゼミ	①まちゼミ事業についてのセミナー開催・事業の周知は、計画では、商工会議所を会場に参加者を一同に集めて実施する予定でしたが、新型コロナの拡大予防のためインターネットによるWebでの説明会方式に変更。(補助金額には変更なし)②新型コロナの拡大予防のため、当初計画での開催時期に実施することが困難となったため、事業のスタートを7月からとすることになり、それに伴って、順次、以降の実施スケジュールが、繰り下げとなります。(補助金額には変更なし)	0
変更	地域活性化事業	自社商品売込み商談会 (堺商工会議所幹事)	新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、堺商工会議所(幹事)の 自社商品売込み商談会が、年2回開催の計画が年1回の開催に変更 になったため。	▲ 252,695

2. 経費支出概要書(経費内訳)

泉佐野商工会議所 (単位:円)

(1)経営相談支援事業				(単位:円)					
区分		変更前			変更後		差	額	
	事業所数/回数	算定基準	補助金額	事業所数/回数	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	
事業所カルテ・サービス提案	200	5,000,000		200	5,000,000		0	/	
支援機関等へのつなぎ	4	40,000		4	40,000		0		
金融支援(紹介型)	5	150,000		5	150,000		0		
金融支援(経営指導型)	90	3,600,000		90	3,600,000		0		
マル経融資等の返済条件緩和支援	O	0		O	0		0		
資金繰り計画作成支援	55	1,100,000		55	1,100,000		0		
記帳支援	50	1,250,000		50	1,250,000		0		
労務支援	50	1,000,000		50	1,000,000		0		
人材育成計画作成支援	О	0		О	0		0		
マーケティングカ向上支援	5	100,000		5	100,000		0		
販路開拓支援	60	1,200,000		60	1,200,000		0		
事業計画作成支援	25	1,250,000		25	1,250,000		0		
創業支援	10	200,000		10	200,000		0		
事業継続計画(BCP)作成支援	10	200,000		10	200,000		0		
コスト削減計画作成支援	10	200,000		10	200,000		0		
財務分析支援	50	500,000		50	500,000		0		
5S支援	O	0		О	0		0		
I T化支援	5	100,000		5	100,000		0		
債権保全計画作成支援	O	0		О	0		0		
事業承継支援	10	200,000		10	200,000		0		
災害時対応支援	O	0		51	255,000		255,000		
フォローアップ支援	40	200,000		40	200,000		0		
結果報告	175	1,750,000		175	1,750,000	00	0	1	
小計	_	18,040,000	18,040,000	_	18,295,000	18,292,695	255,000	<u>252,695</u>	

(2) 専門相談支援事業

事業名		変更前			変更後		差	額
尹 未 句	支援日数	算定基準	算定基準補助金額		算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
金融相談専門員	O	0		O	0		0	
法律	10	240,000		10	240,000		0	
税務	12	288,000		12	288,000		О	
労務	4	96,000		4	96,000		0	
知財	4	96,000		4	96,000		0	
小計	_	720,000	720,000	_	720,000	720,000	0	0

※支援日数×24,000円。ただし、記帳支援のために税理士を活用する場合、事業所数×26,000円

(3)地域活性化事業

	変更前		変更後	差額		
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額
小計	別紙事業調書のとおり	9,212,456	別紙事業調書【変更後】のとおり	8,959,761		▲ 252,695

(4)商工会等支援事業

	変更前		変更後	差額			
	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	算定基準	補助金額	
小言十	別紙事業調書のとおり	0	別紙事業調書【変更後】のとおり	0		0	

(5) 合計

	変更前	変更後	差額		
	補助金額	補助金額		補助金額	
申請合計	27,972,456	27,972,456		0	

	事業名			新規/継続	継続		
	想定する実施期間	H 29	年度~	年度まで	←複数年段階的実施 また、別紙にて記	0 5 7 (10 · 10 · 10 · 10 · 0 · 0	_
	事業の目的 (現状や課題をどのよう な状態にしたいか)	ませること から商品と 生の情報発 「今度は客	ができるが、 顧客との出会 信が可能とな として来店し	店舗に直接行くて 会いの場を提供する なり、店主の人とな したい」という思い	5舗に来店しなくてもことでしか伝わらないることで直接のコミュなりや知識、ノウハウンにつながっていく。 別店の新規顧客の獲得	ことも多々な ニケーション を知ってもら 本事業を通し	ある。お店 ノを通した らうことで ンて、地元
		深め、事業 なるネット こうした事 数を増すこ きる。	連携や異業科・ワーク形成を 受業者間のつな でとに参加事業	種間のマッチングな を図る。本事業はするがりによる販路関 き者の増加や連携の	2ミナーや実行委員会など、新しい取り組みすでに3回の実施を紹明石を開拓や連携といった成り強化によってさらな	を行う際の原で、顧客の領域というでは、一般を必要を受けませる。 それを できる	≧がかりと 養得の他に)、今後回 ≷が期待で
事業の概	支援する対象 (業種・事業所数等)	発信が可能 業者につい	である事業者	者を募集する。主に 内の施設(公民館・	所在し、自店の持つ第二飲食・小売・サービ 上飲食・小売・サービ ・他店舗)を利用する 座を開講)での参加の	[ス関係。エリ 形で参加する	リア外の事
要	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	「街バル事 を感じても 店しないよ	業」はともに らうことで! うな客層に	- 新規顧客の獲得を リピート化を図るも 『業を通して実際に)円商店街」事業や飲 を目的に、イベント参 5のであるが、本事業 に買い物をしてもらう 『って以後のリピータ	加者に店や店 も同様に普段 ことで店主と	言主の魅力 設店舗に来 このコミュ
		でその成果能である「業の趣旨理他の販路関係を対すがりが薄い	が表れている まちだい という まちだ はまい 成果を出れる アイベント アーク形成から 当地ではこ	る。「販売」という にいう形式での販路 はすためのノウハウトラ 事業と一線を画す の副次的効果もプ	以上の の開催を望む う制約を取り払い、よ 路開拓、そして事前セフの共有により成果に す部分であり、参加事 てきく、地域特性とし でが高く、ネットワー アースもある。	り多くの業権 ミナーの実施 結びつきやす 業者間のつな て事業者間の	重が参加可 他による事 けいことが ながりによ O横のつな

事	業名	さのまちゼミ	新規/継続	継続
これまでの 取組状況 ※継続事業の場合のみ記入		(第1回セミナー> 【日 時】平成31年4月15日(月) 午後7時~9時30分 【講 師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内 容】「三方よしのまちゼミ事業とは」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 〈第2回セミナー> 【日 時】令和元年6月6日(木)(2部開催) ① ① ① ① ① ① ① ② (周辺)」	が開催とし
	反省点	今回、参加店舗が昨年度と比べて減少した。その結果、昨年の座の開講になった。受講者も、一人が複数の講座を受講する事のを知らなかった」という声もあった。年代も40~50代の受若年者も含めた幅広い年代へのまちゼミのPRを図っていきたいついても、まだ参加店だけでは実施できないとの声が多くあっ	が多く「開修 講者が多く、 ハ。また、自	難している 今後は、

	事	業名	さのまちゼミ	新規/継続	継続
	0	人材育成型	地域の商店主が講師となり、その道のプロならではの専門的なを無料で受講者(顧客)に伝える少人数制のゼミを1か月~17る。全体の流れとしては事前にまちゼミ自体の周知と趣旨を理	か月半の期間	で実施す
		人材交流型	ミナーを実施したうえで参加事業者を募集し、より効果的に事加者向けの説明会を開催する。参加者確定後は案内チラシを作	業を実施でき	きるよう参
	0	販路開拓型	者を広く募る。まちゼミの実施に当たっては原則として各参加るが、実施エリア外の事業者や十分なスペースが確保できない	事業所におい 店舗などは、)て開催す エリア内
		ハソス゛オソ型	施設の利用か他店とのコラボにより実施できる形でフォローす 施後にもフィードバックが得られるよう結果報告会を行い、継イベントとして定着することを目指す。	る。また、また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。また。ま	まちゼミ実 ンて地域の
具体的 な実施			第2回より参加店舗より有志の実行委員を募り、主催者と協働 営を担う実行委員会を組織している。事業者主体での運営体制 加店舗が主体的に事業参加し、PDCAを意識しながら将来的 運営、独立採算にて本事業が行われるように計画する。	を構築するこ	とで各参
内容· 手法 該当型			事業としては下記のスケジュールで進めていく。尚、実行委員 6回程度適宜開催する。	会については	は年度内に
にいどで何ど にの明()・こ・・よ るをに		独自提案型	①4月まちゼミ事業についてのセミナー開催、事業の周知を図 【内容】「三方よしのまちゼミ事業とは」(2H・1日間) 【会場】「泉佐野商工会議所」 ②5月参加者を募集し、参加者向けの説明会を開催 【内容】「講座の組み立て方、まちゼミのツボと仕組みにつ 個店対応・ワークショップ有) 【会場】「泉佐野商工会議所」 ③7月参加店が決定し、チラシ作成 ④9月~10月に1か月~1か月半の期間でまちゼミを実施 【内容】「自社店舗を会場として店主が講師となり、自分 ノウハウ・技術を受講者に無料で提供する」 【会場】「各参加店アンケート調査 ⑥(12月) 結果報告会・ワークショップ開催(2H・1日間) 【内容】「報告と次回に向けての検討会」 【会場】「泉佐野商工会議所」	いて」(2H (自社) の持 [:]	⊃知識・
	(1	事業手法 亥当する場合は O印と下欄に その根拠)	【a) 府施策連携 【 (b) 広域連携 ○ (c) 市町村連携 ○ (c) 市町村連携 市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る同事業をPR。 (d) 相談事業相乗効果 事業実施後は販路支援等の支援に繋げる		

事業名						 さのまちゼミ					新規/約	坐 幺声	継続
	尹木口	≣ſ	完定地	見拠及び		このみりとく					か12年/ 川	שוויטני	かむかび
	支援対象企業数			方法⇒	募集を 内)に 報、DI	市内の事業者 かける。南海 400件の事業 M、会報、S 募集すること	・泉佐野 所があり NSそし	部駅を り、本 ノて参	中心と 事業に 加店部	:する は業種 ・実	市街地 の制限が	(約1k) がない	くm圏 ため、市
事業の	支援対象企業数			関拠及び 方法⇒ 社	募集を 内)に 報、DI	市内の事業者 かける。南海 400件の事業 M、会報、S 募集すること	泉佐野 所があり NSそし	駅を り、本 ノて参	中心と 事業に 加店部	:する は業種 ・実	市街地 の制限が 行委員に	(約1k) がない	くm圏 ため、市
目標	支援対象企業の 変化	自尼	今回のまちゼミを通して訪れた受講者に自社の持つ技術やノウハウを発信し、同時自店の魅力を積極的・効果的に伝える方策を試行錯誤しながら検討し、できることら販売促進への取組を試みるようになる。 										
		指	標	さのまた業の割合		施に関して販	促意識か	(向上	したゴ	数	値目標	7	70%
		指	標	さのまち 加店の割		講者が再来店	(リピー	· ト)	した参	数	値目標	ξ	50%
	その他目標値	<u></u>	標値	の内容⇒									
	算定基準 (行が足りない場合は、 →の行に挿入)		サ -	じ、入単価		支援企業数			係数		標準	事業費	
				20,200 円 >		35	×	-	1.30			919,100 円	
		\Rightarrow		50,500	円×	50	X	-	1.00		2,52	25,00	
					円×		×		(11)	/=T/	2.4	4 4 1 0	0 円
		∢≆⊬‡	(小計) 3,444,100 円 新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) 0 円										
		\ 49 I 75	Ju ∪ J <u>u</u>	A-30, E-173 F-1	~ <i>0010</i> 01			+ (.)		計	3,44	44,10	
算定基準に	独自提案単価及び 独自補正係数の根拠 (基準どおりの場合不要)												
ょ		1 1	5町村	讨等補助		円	交付市	町村等	争				
り算出さ		25	受益者	当 負担		円	負担金(の積算	算				
10 to E	算出額		(a)		隽	(b)広域連携	(c)ī	市町村	寸連携	0	(d)相談	事業相	乗効果
れ る 額	'	ħ	漂準	事業費		補助率				(1	市町村等	+②受	益者負担)
谼			3,4	44,100	円 ×	0.50 =	1,72	22,0	50円	(0 円)
		代	商	工会・会	議所名	配分割	· 頁		役	割(翻	配分の考	え方)	
	補助金の団体配分						円						
	(「代」欄には、中核団体またはヒアリングで説明す						<u>円</u>						
	る代表団体に〇)						<u>円</u> 円						
							円						
【備	老】												
NH 1	71												

	事業名			さのまちゼミ		新規/継続	継続
	想定する実施期間	H 29	年度~	年度まで	←複数年段階的実施 また、別紙にて記		
	事業の目的 (現状や課題をどのよう な状態にしたいか)	ませること から商品と 生の情報発 「今度は客	ができるが、 顧客との出会 信が可能とな として来店し	店舗に直接行くこ いの場を提供する い、店主の人とな したい」という思い	舗に来店しなくても とでしか伝わらない ことで直接のコミュ りや知識、ノウハウ につながっていく。 店の新規顧客の獲得	ことも多々な ニケーションを知ってもら 本事業を通し	ある。お店 シを通した らうことで ジて、地元
		深め、事業なるネットこうした事数を増すごきる。	連携や異業種 ワーク形成を 業者間のつな とに参加事業	間のマッチングな 図る。本事業はするがりによる販路開業者の増加や連携の	ミナーや実行委員会 ど、新しい取り組み でに3回の実施を経 拓や連携といった成 強化によってさらな	を行う際の原で、顧客の領域というできます。 できる	Eがかりと 護得の他に O、今後回 Rが期待で
事業の概	支援する対象 (業種・事業所数等)	発信が可能 業者につい	である事業者ではエリア内	を募集する。主に の施設(公民館・	f在し、自店の持つが飲食・小売・サービ 飲食・小売・サービ 他店舗)を利用する 至を開講)での参加で	:ス関係。エリ :形で参加する	Jア外の事
要		「街バル事 を感じても 店しないよ	業」はともに らうことでし うな客層に事	新規顧客の獲得を リピート化を図るも 『業を通して実際に	円商店街」事業や飲目的に、イベント参のであるが、本事業買い物をしてもらうって以後のリピータ	加者に店や店 も同様に普覧 ことで店主と	5主の魅力 没店舗に来 このコミュ
	事業に対する 企業ニーズ (内容・把握方法等)	でその成果能である旨理他の販りがありが薄い	が表れているまちゼミ」とはいる。成果を出たのでは、成果を出たのではからいます。	る。「販売」というにいう形式での販路にいう形式での販路にはすためのノウハウト事業と一線を画するの副次的効果も大	上の の開催を望む制約を取り払い、よ開拓、そして事前をの共有により成事前をの分がであり、参加事であり、参加事ではない、 ではない、地域特性としが高く、ないのである。	り多くの業科 ミナーの実施 結びつきやな 業者間のつな て事業者間の	重が参加可 他による事 すいことが ながりによ り横のつな

事	業名	さのまちゼミ	新規/継続	継続
これまでの 取組状況 ※継続事業の 場合のみ記入		(第1回セミナー> 【日 時】平成31年4月15日(月) 午後7時~9時30分 【講 師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内 容】「完佐野商工会議所 4階さくらホール」 〈第2回セミナー> 【日 時】令和元年6月6日(木)(2部開催) ①午後1時~3時 ②午後7時~9時00分 【講 師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内 容】「環佐野商工会議所 4階さくらホール」 〈第3回セミナー> 【日 時】令和元年8月21日(水)(2部開催) ①午後2時で4時 ②午後7時で9時00分 【講 師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内 容】「家佐野商工会議所 4階さくらホール」 〈第3回セミナー> 【日 時】令和元年8月21日(水)(2部開催) ①午後2時で4時 ②午後7時で9時00分 【講 師】表町商店街まちゼミ直前実行委員長 矢部 久智氏 【内 容】「まちゼミ本番までの準備・オペレーション、実施後のアフターフォローについて」 【会 場】「泉佐野商工会議所 4階さくらホール」 〈第4回セミナー> 【日 時】令和元年11月20日(水)午後5時30分~6時45分 【講 師】第3回さのまちゼミ実行委員長 公文 一雄氏 【内 容】「まちゼミアンケート結果の分析・次回へのブラッシュアップ」 【会 場】「家佐野商工会議所 4階さくらホール」 〈第3回 得する街のゼミナール さのまちゼミ> 【日 時】令和元年9月5日(木)で10月5日(土) 【内 容】「自社店舗を会場として店主が講師となり、自分(自社)の持つノウハウ・技術を受講者に無料で提供するミニ講座の実施」 【会 場】「各参加店の店舗内・泉佐野商工会議所 他(南海本線泉佐野駅【参加数】56店舗(補助対象50社)・全70講座 受講者延べ762名 【主 催】泉佐野商下。泉佐野商業会連合会 【後 援】泉佐野市	周辺)」	『開催とし
	反省点	今回、参加店舗が昨年度と比べて減少した。その結果、昨年の座の開講になった。受講者も、一人が複数の講座を受講する事のを知らなかった」という声もあった。年代も40~50代の受若年者も含めた幅広い年代へのまちゼミのPRを図っていきたいついても、まだ参加店だけでは実施できないとの声が多くあっ	が多く「開修 講者が多く、 N。また、自	難している 今後は、

事業名					新規/継続	継続					
		0	人材育成型	を無料で受講者	5師となり、その道のプロならではの専門的な (顧客)に伝える少人数制のゼミを1か月~17 こしては事前にまちゼミ自体の周知と趣旨を理	か月半の期間	で実施す				
	-		人材交流型	ミナーを実施した加者向けの説明会	こうえで参加事業者を募集し、より効果的に事 会を開催する。参加者確定後は案内チラシを作	業を実施でき 成し、広報を	きるよう参 そうい受講				
	_	0	販路開拓型	るが、実施エリア	まちゼミの実施に当たっては原則として各参加 7外の事業者や十分なスペースが確保できない	店舗などは、	エリア内				
	-		ハンス゛オン型	施後にもフィート	とのコラボにより実施できる形でフォローする。また、まちゼミ実 バックが得られるよう結果報告会を行い、継続的に開催して地域の 着することを目指す。						
具な内手態にい	施・法型)		独自提案型	営を担う実行委員加店舗が主体的は 運営、独立採算は 事業としては下記 6回程度適宜開催	議議より有志の実行委員を募り、主催者と協働 員会を組織している。事業者主体での運営体制 工事業参加し、PDCAを意識しながら将来的 こて本事業が行われるように計画する。 このスケジュールで進めていく。尚、実行委員 達する。 「業についてのセミナー開催、事業の周知を図	を構築するこ には事業者に	ことで各参 こよる自主 は年度内に				
いって何と、この時である。	こ・・ようなか			【内容】「三万 【会場】「泉位 ②8月参加者を募 【内容】「講師 【会場】「泉位 ③10月参加店が ④2月~3月に17 【内容】「自二 【内容】「自二 【会場】「不容」 【合場】「不容」 【内容】「名」 「名」 「名」 「名」 「名」 「名」 「名」	方よしのまちゼミ事業とは」(2H・1日間) 主野商工会議所」 集し、参加者向けの説明会を開催 医の組み立て方、まちゼミのツボと仕組みにつ 店対応・ワークショップ有) 主野商工会議所」 決定し、チラシ作成 か月の期間でまちゼミを実施 社店舗を会場として店主が講師となり、自分 カハウ・技術を受講者に無料で提供する」 参加店内」)いて」(2F	Ⅰ•1日間				
	-	事業手法 (該当する場合は 〇印と下欄に その根拠)		(a)府施策連排 (c)市町村連携 同事業をPR。 (d)相談事業相乗	市役所・町役場との連携を通じて、案内周知を図る						
	支	泛援文	対象企業数	設定根拠及び 募集方法⇒ 35 社	集方法⇒						
事業の	支援対象企業数			設定根拠及び 募集方法⇒ 50 社	泉佐野市内の事業者で新規顧客の獲得を目指募集をかける。南海・泉佐野駅を中心とする内)に400件の事業所があり、本事業は業積報、DM、会報、SNSそして参加店舗・実幅広く募集することで50社の参加を見込む	市街地(約1章の制限がなり 行委員による	Km圏 Nため、市				

4-2. 地域活性化事業 事業調書【変更後】

泉佐野商工会議所 (担当者:市場・浦田)

事業名			さのまちゼミ								新規/継続		継続		
目標	支援対象企業の 変化	今回のまちゼミを通して訪れた受講者に自社の持つ技術やノウハウを発信し、同時に 自店の魅力を積極的・効果的に伝える方策を試行錯誤しながら検討し、できることか ら販売促進への取組を試みるようになる。													
	交心			さのまち 業の割合	5ゼミ実施に関して販促意識が向上した企 う						数値目標		70%		
		指標		さのまちゼミ受講者が再来店(リピート)した参 加店の割合						数値目標			50%		
	その他目標値	目標		の内容⇒											
算定基準により算出される額			サー	ど、入単価		支援企	業数		1	係数		標準等	掌業		
	算定基準 (行が足りない場合は、 ⇒の行に挿入)		2	20,200	円×		35	×	_ 1	1.30	=	91			田
		\Rightarrow	- 5	50,500	円×		50	×	1	00.1	=	2,52	25,00	00	円
					円×			×		/ · l · =	=	0.4		0	円 E
		(小計) 3,444,100 円 (小計) 0,744,100 円 (小計の方域連携事業の場合は広域連携児従患を加管(小計の方义) 0 円													
		(新規の広域連携事業の場合は広域連携促進費を加算(小計の5%) 0 円 計 3,444,100 円													
	独自提案単価及び 独自補正係数の根拠 (基準とおりの場合不要)														
		①市町村等補助 円 交付市町村等													
	算出額	②受益者負担			円 負担:			負担金(金の積算			_			
	异山 戗		(a) R	守施策連 捷	隽	(b)広域	連携	(c)ī	市町村沿	連携	0	(d)相談	事業村	目乗	効果
		ħ	票準	事業費		補助率					(1	市町村等	+②受	益者	負担)
		3,444,100 円 ×			円×	0.50	=	1,722,050		0 円	(0 円)	
	補助金の団体配分 (「代」欄には、中核団 体またはヒアリングで説明す る代表団体に〇)	代 商工会・会議所名 配分額 役割(配分のき				え方))								
			<u> </u>												
			円												
		円 円													
								円							

【備考】

①まちゼミ事業についてのセミナー開催・事業の周知は、計画では、商工会議所を会場に参加者を一同に集めて実施する 予定でしたが、新型コロナの拡大予防のためインターネットによるWebでの説明会方式に変更。(補助金額には変更なし) ②新型コロナの拡大予防のため、当初計画での開催時期に実施することが困難となったため、事業のスタートを7月からとすることになり、それに伴って、順次、以降の実施スケジュールが、繰り下げとなります。(補助金額には変更なし)

小規模事業経営支援事業 地域活性化事業 変更理由書											
泉佐野商工会議所											
事業名	さのまちゼミ										
計画に対する 実績(数値)	数(計画)	支援企業 数(実績)	支援 実績率	#DIV/0!	【参 考】 参加者数						
	【変更の経過と理由】 新型コロナの感染拡大に 難な状況になったことか 拡大予防への環境改善が なった。	いら、環境が許す開催の	の時期を探っ	っていたが、	ようやくこ	コロナ感染					
理由	【支援効果】 新型コロナ感染拡大の影 同事業を実施することで となる。										
	【今後の改善方策】 新型コロナの第二波への 安心して参加頂ける事業		実施に向け ^っ	て感染拡大に	こ注意を払い)、安全・					
	【経費内訳】 変更なし										